

立春から数えて二一〇日目を「二百十日」と言い、昔は稲の開花時期、今では稲の収穫期にあたります。この時期は台風が多く襲来するため、農家の厄日とされ、古くは家の棟に「風切り鎌」と称して草刈り鎌を取り付けたり、収穫前の稲を一株切り取って神様にお供えする風習がありました。今では殆ど見られなくなりました。（横根岡区が風祭を齋行するのみ）

日本は古来より「豊葦原瑞穂の国」とも呼ばれ、農業を尊び、一年間、様々なお祭を通して神様に豊作を祈ってきました。正月十五日の祈年祭の「御神的神事」で一年の風や水の障りを占うことや、五月五日の例大祭の「神楽」、二百十日の「風祭」、十月十五日の「神事祭」、十一月二十三日の「新嘗祭」が代表的なお祭です。

今年は夏場に集中豪雨や日照りなど、大きな地域差がありました。が、当地の稲の生育は順調で、八月中旬から稲刈りが始まりました。旧暦八月十五日は「中秋の名月・十五夜」です。ススキを飾り、月見団子や里芋・栗などの秋の収穫物をお供えます。これも「神恩感謝」という日本人の心の現れです。

今月の行事

八月三十一日 二百十日風祭（横根岡区祈願祭）

六日 玉崎神社秋季例祭役員会

七日 白露

一三日 いいおか幼稚園・入園説明会

一五日 敬老の日（祝日）

二三日 秋分の日（祝日）・彼岸の中日

秋季皇霊祭

十月六日 十五夜（旧暦八月十五日・芋名月）

＊玉崎神社 秋季例祭（十月十五日）

九月中頃より「神事祭」の御神札が頒布されます。御神札を受け、神棚にお祀りしましょう。

